

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	(株)クレアメディコ	代表者	岡本 恒夫	法人・事業所の特徴	「医療・介護の原点はやさしさ」 上質な医療・介護を提供し、信頼され、選ばれる「さわやか苑」を目指し、地域医療・介護に貢献します。
事業所名	多機能ケアセンター さわやか苑長岡藤沢	管理者	岩崎 智美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	1人	1人	1人	人	1人	3人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 事前訪問から担当スタッフを決めて初回利用から安心と信頼関係を構築。 スタッフ一人ひとりが1人のご利用者様について10個以上言えるようになる。 玄関表記を分かり易くし入りやすい雰囲気作りを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に担当を決め関わりを持つよう心掛けた。 職員により差が生じている。 玄関表記の改善は行えなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善計画に具体性がなく、よくわからない為もう少し具体的に立てた方がよい。 玄関表記の計画はB項が良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 新規利用時、契約段階から担当職員を決め初回利用時から安心して利用できるよう関わっていく。 研修年間スケジュールを作成し、個々のスキルUPを目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> スタッフも環境の一つとして捉え笑顔での挨拶と手を止めて正対し挨拶を心掛ける。 ハッピー通信にて町内の行事も発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 委員会を通し接遇強化に努めた。 委員への伝達が不十分でありハッピー通信での発信ができなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員が立って挨拶できている。 笑顔で対応できている 玄関は必要最小限のわかりやすい表にするとよいと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 外部、内部関係なく手を止め正対し笑顔で挨拶をする。 玄関表記を外部の方が分かり易いように見直す。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 送迎時なども周辺への注視を心掛け異変への早期発見に協力。 子供たちへのあいさつを行い明るい街づくりと防犯に協力。 町内会活動への参加を通じて地域の困っている事や心配事への協力をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との交流の場として毎週1回みんなの集いを開催したが周知不足であった。 近隣小学校とは雑巾プロジェクトや町探検と通じ交流を図っていた。 	<ul style="list-style-type: none"> みんなの集いは周知できない原因を分析できているのか 回覧板だけでは集まらない。あるのはわかるが使うまでには至らない為、お知らせも文章だけではなくイラストなどつけて見た目の工夫をするとよいと思う。 目的があった方が分かり易い 	<ul style="list-style-type: none"> 苑内の地域交流委員会と連携し、みんなの集い案内やハッピー通信の内容を工夫しより地域に密着できるようアナウンスする。 雑巾プロジェクトは継続し小学校だけでなく中学校とも交流の機会を増やす。 年度内に3回以上地域の学校との交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 自宅での生活を支えていくために、ご本人の生活圏内の社会資源を確認し利用できることやお願い出来る事は継続して行う。 主治医、各事業所と担当者会議、カンファレンスなどで連携を図り在宅生活が継続できるように支援していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域、社会資源の把握ができていなかった。 担当者会議等では各他職種と情報共有を図り在宅生活が継続できるように支援できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模多機能として、インフォーマルサービスをどう取り込んでいくかが課題になっている 	<ul style="list-style-type: none"> 職員対象に地域資源、社会資源とはどのようなものがあるかの研修を行う 引き続き、在宅生活を支える為の資源を確認し在宅生活を継続できるように支援していく。
E. 運営推進会議を活かした取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハット、事故、苦情の報告を行い施設内の実状を報告した上で取り組みについても報告していく。 運営推進会議に現場職員も参加し家族、地域の方々と関わりを設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議には現場職員の参加がほぼできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議内で出た話をやってみてはどうか 町内としても会議で出た話をしていないし町内の話も出していない。一声あるだけでも違う 出された課題を1年で改善するのは難しい事もあるが、改善に向け努力する姿勢が大事だと思う 	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議に現場の職員も参加し、ご家族や地域の方との関わりを増やす 運営推進会議内を通じ施設と地域の情報をより密に共有し共に協働していく 運営推進会議内で事故、苦情報告を行い、頂いた意見も参考に改善に努める
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の一時避難場所として施設を提供していく。 地域防災訓練に参加、苑でも地域住人の方からも参加頂き連携の強化を図る。 風水害の避難訓練を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> 5月に風水害の避難訓練実施。 9月に町内の職員1名防災訓練参加 	<ul style="list-style-type: none"> 以前避難訓練の際に車椅子の操作方法を教えてもらった事がある。また行ってほしい。 防災訓練時、運営推進会議と抱き合わせて行ってはどうか 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練年間計画を地域の方へも公表する 地域防災訓練に参加する 避難訓練等を通じて地域の方へ介護の勉強会や看護師から応急処置の方法を伝える機会を作る。